

ひゃくちゃん通信

第22号
平成30年9月

T 421-1221
東海フーズ株式会社
静岡市葵区牧ヶ谷2037
054-277-1667(代)

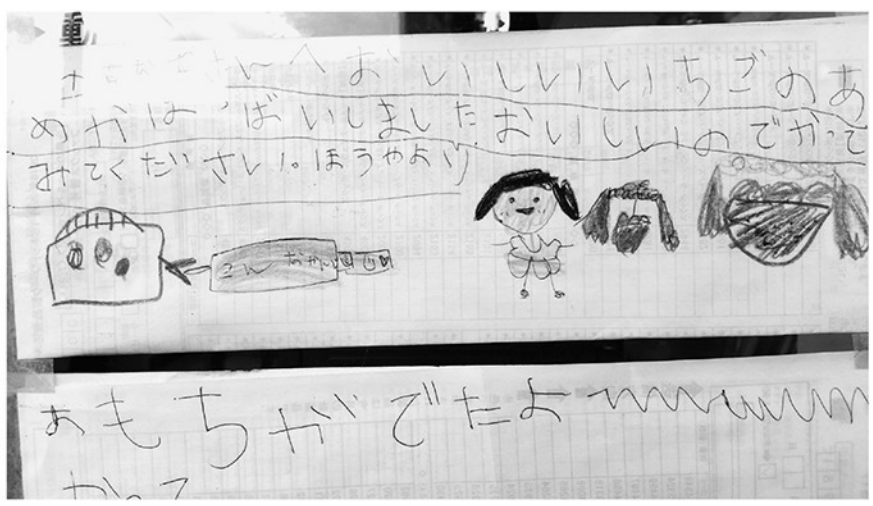
もう9月だというのに
厳しい残暑が続きます
が、皆さんお変わりなく
お過ごしでしょうか。
社員猫のひゃくちゃんです。
全身を毛フワフワで覆われた僕にとつては、ま
さに生命の危機でございます。適度な休憩
と水分補給が欠かせません、とは言えやは
り文明の利器であるエアコンのきいたお部
屋で過ごすのが何よりのご馳走です。社長
とママとの労使交渉のすえ、お一人がお出
かけの時も最低限の温度管理をお約束頂
いたお陰で元氣にお昼寝して毎日を通
してします。



さて、この暑さもそうですが、人間様の間
では厳しい時でも前向きでいられる様に、
「やまない雨はない。」とか、「冬があるから
春が来る。」などと言われますが、今回はそ
んな事を感じさせてくれる当社のお客様の
お話です。

舞台は関東の、とあるお客様。当社の担
当営業がお伺いした時の事、入口付近のガ
ラス窓に貼られたポップに思わず目が釘付
けになったそうです。

そこにはつたない文字ではありますが、一
生懸命に書いたと思われる「おいしい いち
このあめをはずばいしました。おいしいので
かってみてください」と当社のいちこのあめの
メッセージが。お店で「主人さんと奥さん



に伺ったところ、長女さんのお子さん二人
の力作だ。つまりお孫さんです。満面の
笑みを浮かべて教えて下さったそうです。
これにはパソコンなどを駆使してどんなに
綺麗なポップを作っても勝てないなあ、と営
業さんは感じたそうです。確かに人との関

わりを大切にしている専門店さんにとって、
これ以上のポップは無いかもしれませぬ
。そこで、営業さんにお店の話を色々聞
いてみると、兎にも角にも「家族仲が良い。
(因みに奥さんはご主人さんを「○○ちゃん
」と呼ぶそうです。)そして、元々ご主人
さんがお店と並行して切り盛りしていた合
鍵のお仕事は長女さんが引継ぎ、今では一
人前に仕事をこなしていて、嫁いでもからも
可能な限りお手伝いに来られているそうで
す。



ところで、これだけを見れば微笑ましい
専門店の家族の光景ですが、実はその昔、
当社の営業さん曰く「正直者」などという
レベルではなく、「馬鹿正直」の頭に(大)が
付くほどのお人柄のご主人さんと奥さん
は、他人を信用したばかりにそれはそれ
は大変な「困難」を背負い込む羽目となっ
たそうです。常識的には世の中を恨んだ
り、開き直ってもおかしくは無いレベルの
「困難」です。ですが、お一人は「お店」を守
る為にその「困難」と真正面から向き合う
覚悟を決めたそうです。当時は娘さん達も
まだ幼かった事とします。

結果的に、想像を絶するご苦労は有りな
がらも、日々の仕事に専念して「困難」を克

服されたとの事です。それに伴い大きな信
用も手にしたとの事です。とても真似の出
来る事ではないと思います。

そんなお二人の背中を
見て育った娘さん達が、
ご商売にとても協力的
なのはうなづけるお話
だと思えます。



さて、その様なご苦労を乗り越えて「お
店」を守ってきたお二人からすると、「お孫
さんが作ってくれたポップ」は僕が感じるの
とまた別な意味で感慨深いものがあるんだ
ろうなと、営業さんが感じたそうです。

厳しい暑さがまだまだ続いています。当社
の「番人気「百草水」を毎日の水分補給にお
役立て頂き、健康に気を付けてお過ごし下
さい。ニャン。ニャン。

